

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6600712号

(P6600712)

(45) 発行日 令和1年10月30日(2019.10.30)

(24) 登録日 令和1年10月11日(2019.10.11)

(51) Int.Cl.

F 1

A 4 7 J 37/07 (2006.01)

A 4 7 J 37/07

請求項の数 6 (全 6 頁)

(21) 出願番号	特願2018-79732 (P2018-79732)	(73) 特許権者	000111867
(22) 出願日	平成30年4月18日 (2018.4.18)		パール金属株式会社
(65) 公開番号	特開2019-187487 (P2019-187487A)		新潟県三条市五明190番地
(43) 公開日	令和1年10月31日 (2019.10.31)	(74) 代理人	100084102
審査請求日	平成30年10月5日 (2018.10.5)		弁理士 近藤 彰
		(72) 発明者	高波 文雄
			新潟県三条市五明190番地 パール金属株式会社内
		審査官	二階堂 恭弘
		(56) 参考文献	実開平01-153142 (JP, U)
			実開昭53-077169 (JP, U)
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 五徳スタンド

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

枠部を備えた載置部と、載置部に折り畳み可能に連結した脚杆部と、載置部の枠部に着脱自在で、且つ枠部に吊下げ装着、また載置部上への載置装着の何れでも可能な係止鉤部を備えた風防板で構成してなることを特徴とする五徳スタンド。

【請求項 2】

風防板に、載置部の枠部への吊下げ装着時に、風防板が載置部中央内側へ揺動するのを阻止する揺動阻止部を設けてなる請求項 1 記載の五徳スタンド。

【請求項 3】

風防板形状を載置部形状と対応させてなる請求項 1 又は 2 記載の五徳スタンド。

10

【請求項 4】

載置部及び風防板を長形状に形成すると共に、枠部の長手方向辺に風防板を装着してなる請求項 3 記載の五徳スタンド。

【請求項 5】

載置部の枠部に吊下げ横杆を突設し、係止鉤部を風防板の上縁に前記吊下げ横杆の幅に対応して設けると共に、前記係止鉤部を枠部に替えて吊下げ横杆に吊下げ装着した際に、前記係止鉤部の基部が枠部と当接して載置部中央内側への揺動を阻止する揺動阻止部に形成してなる請求項 2 乃至 4 記載の何れかの五徳スタンド。

【請求項 6】

吊下げ横杆を、風防板を吊下げ横杆に吊下げ係止した状態から載置部に載置した状態へ

20

、前記吊下げ横杆を中心とした回動動作でなされる位置に設けてなる請求項 5 記載の五徳スタンド。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、主として屋外で使用される五徳スタンドに関するものである。

【背景技術】

【0002】

五徳は周知のとおり脚杆部と載置部とを備え、加熱源上に配置し、載置部に薬缶や鍋等を載置して使用するもので、特に特許文献 1 には、屋外使用を目的として携帯に便利のように脚杆部を折畳とした器具（五徳スタンド）が開示されており、また特許文献 2 には、同様に屋外用において便利のように風防板を備えた器具（五徳スタンド）が開示されている。

10

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】実開昭 60 - 132226 号公報

【特許文献 2】意匠登録第 640526 号公報。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

20

【0004】

五徳スタンドを屋外で使用するに際して、風防板を備えることは、加熱源（固形燃料・薪・炭・ガスバーナー等）の火が消えるのを防止し、また炎の偏りを防止する等の点で有効であるが、特許文献 2 に開示した五徳スタンドは、風防板が載置部の枠体に連結されて垂れ下げられており、風防としてしか利用できていない。また風防板が着脱自在の構造で取り付けられていないので、邪魔になった場合の風防板の処置に困る等の問題がある。

【0005】

そこで本発明は、風防板の利用価値を高める構造の五徳スタンドを提案した。

【課題を解決するための手段】

【0006】

30

本発明に係る五徳スタンドは、枠部を備えた載置部と、載置部に折り畳み可能に連結した脚杆部と、載置部の枠部に着脱自在で且つ吊下げ状態及び載置状態で装着される風防板で構成してなることを特徴とするものである。

【0007】

而して風防板を枠部に吊下げた状態では風防として機能し、載置状態ではテーブルとして機能すると共に、分離可能に設けているので個々に洗浄が可能となる。

【0008】

また本発明の請求項 2 記載の五徳スタンドは、風防板に、載置部の枠部への吊下げ装着時に、風防板が載置部中央内側へ揺動するのを阻止する揺動阻止部を設けてなるもので、吊下げ装着した風防板を風上側に配置して使用するが、その際に風防板で風を受けても、風防板の加熱源が存在する載置部中央側への揺動が阻止されるので、屋外簡易グリルとして支障なく使用することができる。

40

【0009】

また本発明の請求項 3 記載の五徳スタンドは、風防板形状を載置部形状と対応させてなるもので、テーブルとして使用する際に、載置部の上面全体がテーブル面となる。

【0010】

また本発明の請求項 4 記載の五徳スタンドは、載置部及び風防板を長形状に形成すると共に、長手方向辺の枠杆で風防板を連結してなるもので、風防面として広い面積を確保できると共に、テーブルとして使用する際も使いやすい形状となる。

【0011】

50

また本発明の請求項 5 記載の五徳スタンドは、載置部の枠部に吊下げ横杆を突設し、風防板の上縁に吊下げ横杆の幅に対応する係止鉤部を設けると共に、前記係止鉤部を吊下げ横杆に吊下げ装着した際に、前記係止鉤部の基部が枠部と当接して載置部中央内側への揺動を阻止する揺動阻止部に形成してなるものであり、更に本発明の請求項 6 記載の五徳スタンドは、前記の吊下げ横杆を、風防板を吊下げ横杆に吊下げ係止した状態から載置部に載置した状態へ、前記吊下げ横杆を中心とした回動動作でなされる位置に設けてなるものである。

【 0 0 1 2 】

従って係止鉤部を吊下げ横杆に引掛けて係止し、吊下げ状態で風防として使用し、そのまま回動するとテーブルとして使用することができる。

10

【発明の効果】

【 0 0 1 3 】

本発明の構成は上記のとおりで、風防機能を備えた五徳スタンドを、テーブルとしても使用できる多機能化を図ると共に、風防板を分離しての洗浄も可能としたものである。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 4 】

【図 1】本発明の実施形態の全体斜視図（風防板分離状態）。

【図 2】同風防板装着状態の全体斜視図で（イ）は正面（ロ）は背面を示す。

【図 3】同風防板の係止構造の説明図で（イ）は装着時（ロ）は装着前を示す。

【図 4】同風防板装着時の側面図。

20

【図 5】同使用状態の説明図（グリルとして使用）。

【図 6】同図（テーブルとして使用）。

【図 7】同風防板の操作説明図。

【図 8】同収納時・携帯時の説明図。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 1 5 】

次に本発明の実施形態について説明する。実施形態に示した五徳スタンドは、五徳を構成する載置部 1 及び脚杆部 2 と、風防板 3 で形成される。

【 0 0 1 6 】

載置部 1 は、長方形の枠部 1 1 の内方に載置面を形成する網杆 1 2 を架設形成すると共に、両側近傍（短尺辺）に脚軸杆 1 3 及び脚受杆 1 4 を設け、枠部 1 1 の背面（長尺辺側）に吊下げ横杆 1 5 を付設したものである。

30

【 0 0 1 7 】

前記の脚受杆 1 4 は、脚軸杆 1 3 の外側下方で、後述する脚杆部 2 の折畳み構造を実現する位置関係とするものである。

【 0 0 1 8 】

また吊下げ横杆 1 5 は、枠部 1 1 の長尺辺と平行に枠部 1 1 の少し下方に枠部 1 1 より突設したものである。

【 0 0 1 9 】

脚杆部 2 は、縦脚杆 2 1 と足杆 2 2 の上方開口コの字状に形成したもので、縦脚杆 2 1 の先端を脚軸杆 1 3 に巻装して回動自在に連結したもので、折り畳み時には、載置部 1 の裏面に添うように折り畳み、使用時には脚杆部 2 を回動して足杆 2 2 が脚軸杆 1 3 の鉛直下方から外側に位置して脚受杆 1 4 に当接することで、起立状態を維持するようにしたものである。

40

【 0 0 2 0 】

風防板 3 は、載置部 1 の枠部 1 1 の形状と対応する大きさの主板部 3 1 と、前記主板部 3 1 の上縁に吊下げ横杆 1 5 に係止可能に折曲形成した係止鉤部 3 2 を設けてなる。

【 0 0 2 1 】

また特に吊下げ横杆 1 5 と係止鉤部 3 2 の位置関係（係止鉤部 3 2 の形成位置）は、吊下げ横杆 1 5 に、係止鉤部 3 2 を吊下げ係止した際に、係止鉤部 3 2 の基部側が、枠部 1

50

１と当接して載置部１の中央内側への揺動を阻止する揺動阻止部３３に形成され、且つ当該吊下げ状態から吊下げ横杆１５を中心として風防板３を回動させると、風防板３の主板部３１が丁度載置部１に載置される位置関係となるように、吊下げ横杆１５と係止鉤部３２を設けるものである。

【００２２】

而して五徳（簡易グリル）を使用する場合は、脚杆部２を開脚して安定させ、吊下げ横杆１５に係止鉤部３２に係止して風防板３を吊下げるもので、図５に示すように載置部の下方に加熱源（固形燃料Ａ、炭Ｂ、その他薪、ガスバーナー）を配置し、屋外調理に供するものである。特に風防板３を備えることで、加熱源への風の吹き込みを防止する。

【００２３】

特に図４に示すように、風防板３が吊下げ装着された状態で、揺動阻止部３３が枠部１１の下方に当接するので、風上側に配置される風防板３で風を受けても、風防板３が加熱源側に揺動することなく、加熱源を風の吹き込みから守るものである。

【００２４】

また風防板３を吊下げ状態から回動操作して、載置部１上に乗せると、図６に示すようにテーブルとして使用され、更に載置部１上に風防板３を載置した状態で脚杆部２を折畳むと、図８に示すように一枚の板状となり、携帯や収納に便利となる。

【００２５】

尚本発明は前記実施形態に限定されるものではなく、例えば載置部１においては枠部１１の形状は長方形以外にも採用することができ、また網杆１２に替えて格子板や焼網を採用することもできる。

【００２６】

また脚杆部２も単に折り畳み可能な構造であれば良く、線材以外にも板状物を採用することもできる。更に揺動阻止部３３も前記実施形態に示したように主板部３１の延長とせずに、小片を主板部３１の上縁に付設することでも容易に実現できる。

【符号の説明】

【００２７】

- １ 載置部
- １１ 枠部
- １２ 網杆
- １３ 脚軸杆
- １４ 脚受杆
- １５ 吊下げ横杆
- ２ 脚杆部
- ２１ 縦脚杆
- ２２ 足杆
- ３ 風防板
- ３１ 主板部
- ３２ 係止鉤部
- ３３ 揺動阻止部

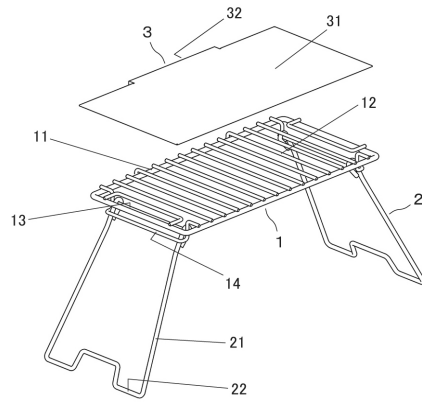
10

20

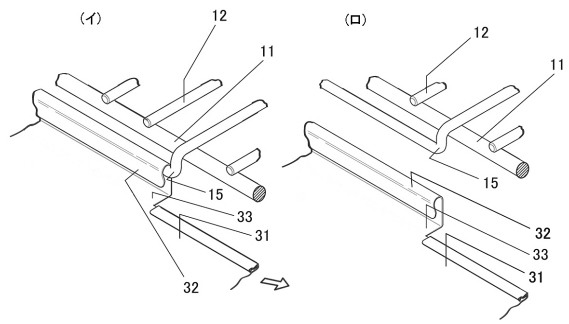
30

40

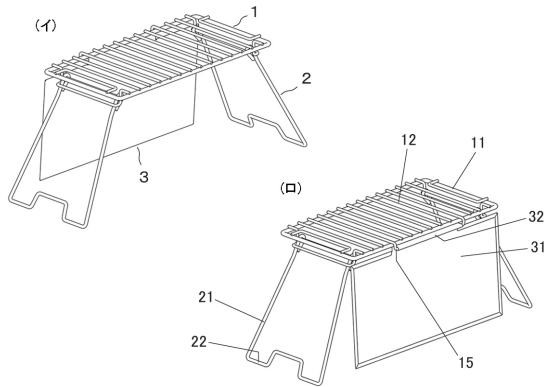
【図 1】



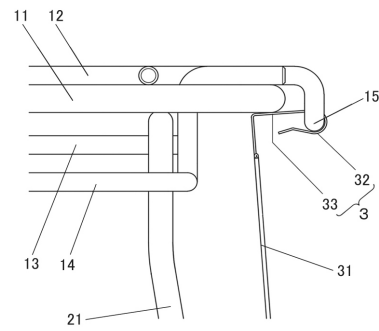
【図 3】



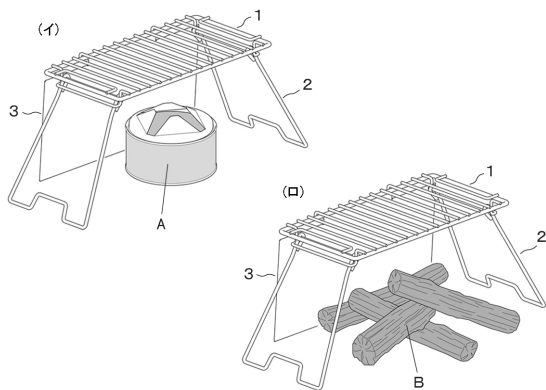
【図 2】



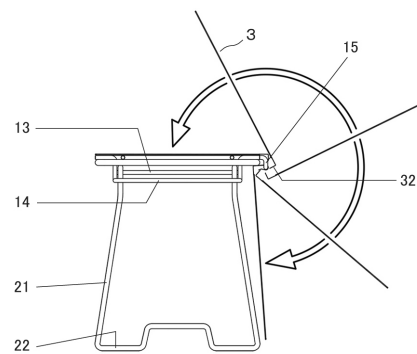
【図 4】



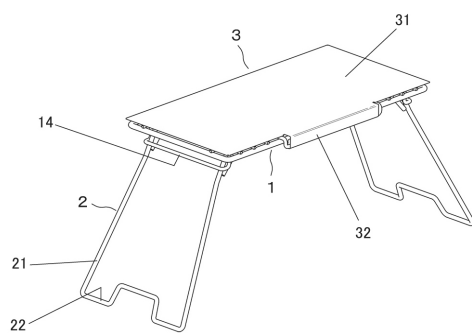
【図 5】



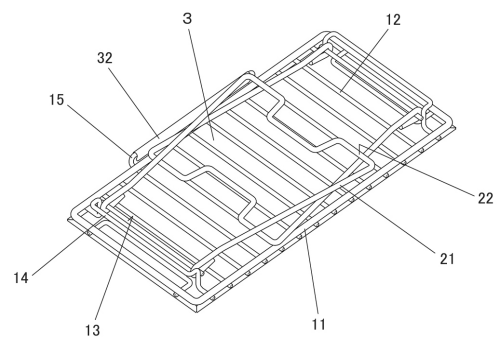
【図 7】



【図 6】



【図 8】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

A 4 7 J	3 7 / 0 0 - 3 7 / 0 7
A 4 7 J	3 3 / 0 0
F 2 4 B	1 / 1 8
F 2 4 B	1 / 1 8 2
F 2 4 C	1 / 1 6